

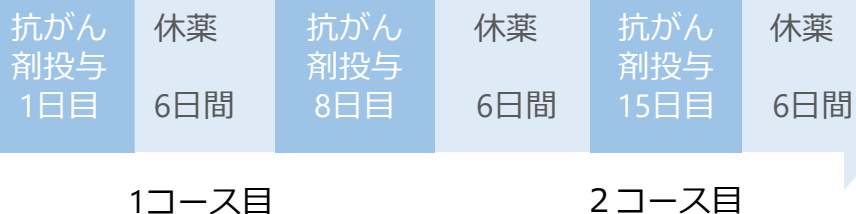
ペルツズマブ+トラスツズマブ +パクリタキセル療法を 受けられる患者様へ

治療について

トラスツズマブ（商品名;ハーセプチン）とは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。
ペルツズマブ（商品名;パージェタ）も同様の働きを持つ薬で、トラスツズマブと組み合わせて使うことで効果が大きくなります。
パクリタキセルとは、細胞分裂に重要な役割を果たす微小管の働きを抑えて、がん細胞の増殖を抑える抗がん剤です。

投与スケジュール

1日目に3種類、8,15日目に1種類の薬を投与します。
21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

ペルツズマブ

420mg

初回は60分、2回目以降は
30分かけて投与します。

生理食塩液

初回のみ経過観察のため投与します。
60分かけて投与します。

トラスツズマブ

(mg)

初回は90分、2回目以降は
30分かけて投与します。

デキサメタゾン
クロルフェニラミン
ファモチジン

吐き気とアレルギーを予防する薬です。
30分かけて投与します。

パクリタキセル

(mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

パクリタキセルはアルコール（ビールでコップ1杯程度）を含んでいますので、お酒を飲んだ時のような症状（顔がほてる、眠気等）が現れることがあります。
点滴をする日に車で来院することは控えてください。

副作用について

点滴による反応 急性嘔吐

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐 食欲不振 便秘 倦怠感

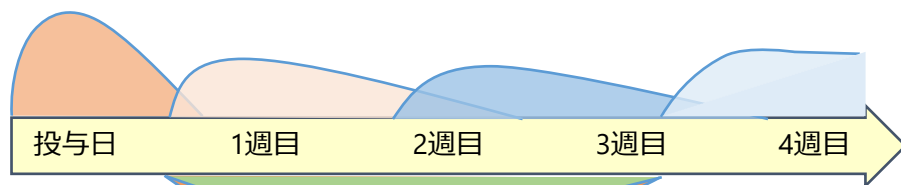
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 味覚の変化 末梢神経障害

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少 血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

心機能障害

心臓に負担をかける作用があります。発現時期は定まっていません。必要に応じて心臓の検査をします。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。